

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4066	(H.24)No.	4066
-----------	------	-----------	------

事務事業名 地域コミュニティバス購入事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	都市計画室	宮崎 敏	63-7749
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	1	交通対策
	小施策	3	公共交通の充実
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	382101
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	地域コミュニティバス購入事業
項	土木管理費	(小事業名)
目	交通対策費	地域コミュニティバス購入事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
公共交通機関の空白地域における生活交通手段の確保と高齢者等交通弱者の移動手段の確保を目的にコミュニティバスを運行しているが、「あららぎ号」については平成16年9月の運行開始から一台の車両で運行しており、すでに6年が経過している。平成22年3月末までの走行距離は13万4千キロ余りで、年間3万5千キロ程度走行するため、平成23年度末には20万キロを超えると予想され、現状では不具合はないものの経年変化や車両の老朽化が進んでいると考えられるため、新規車両を購入する。	

めざす効果(事業目的)
老朽化した車両の更新により、乗客及び乗務員の安全性や快適性の向上を図ることができ、継続的な運行により高齢者のみならず誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりをめざす。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・新規車両の購入(10人乗りワゴン車) 備品購入費(新あららぎ号購入)3,308千円 手数料(購入時のリサイクル) 18千円 役務費(新あららぎ号購入時保険料)31千円 公課費(新あららぎ号購入時重量税)75千円		補助金・交付金	その他 ()	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
直接事業費	3,432千円				
財源内訳 (千円)	国庫支出金	1,818			
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	1,614		0	0	0
人工数	職員 0.20人				
臨時職員等					
概算人件費	1,460千円		0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	4,892千円		0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	-
	実績		7,746	6,704	6,735	6,058	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	→	今後の対応方針
車両の老朽化により新規車両の購入を行った。		あらかぎ号の継続的な運行に取り組む。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項